

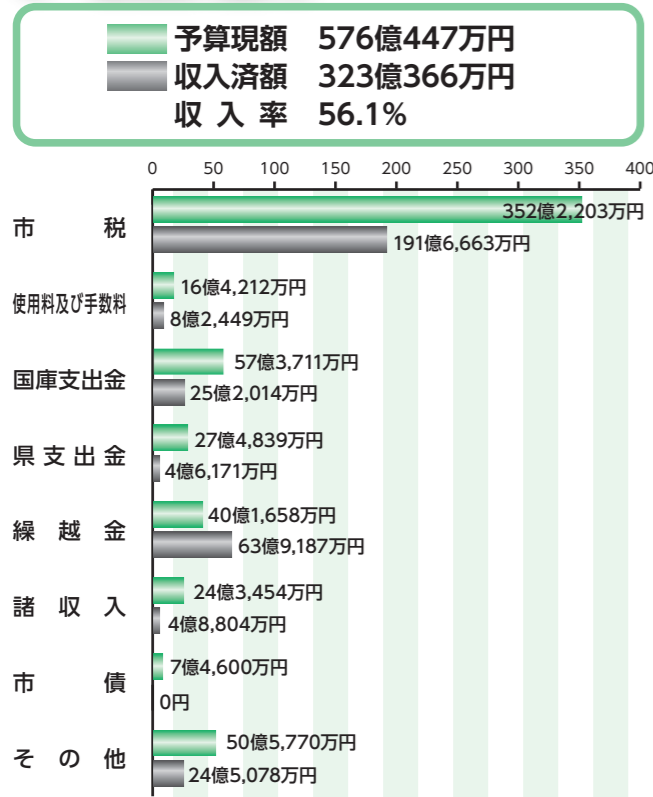
# 財政状況をお知らせします

27年度上半期（9月30日現在）

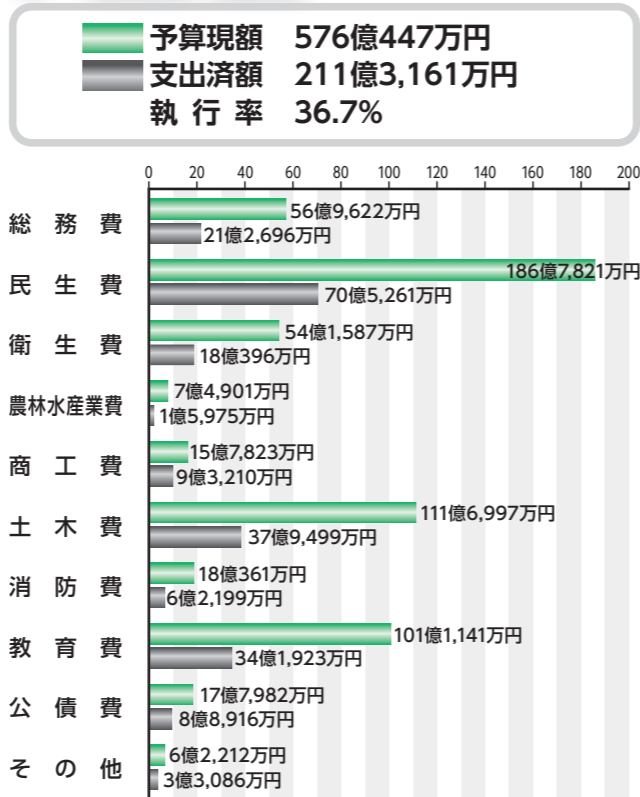
問 財務課（☎62-1006）

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。  
今回は、27年度上半期（9月30日現在）の予算執行状況をお知らせします。

## ◆一般会計（歳入）



## ◆一般会計（歳出）

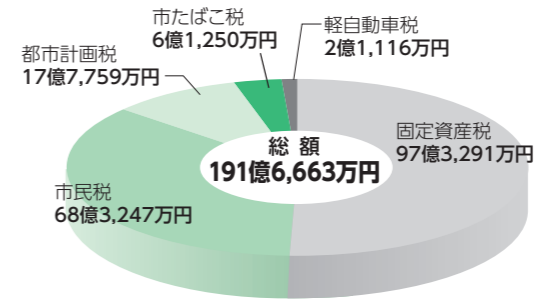


## 市税の負担状況

1人当たり  
128,481円

1世帯当たり  
304,237円

## 市税収入済額内訳



## 市有財産の状況

土地  
3,344,710.93㎡

建物  
551,063.42㎡

基金  
209億7,463万円

## 市債の状況

### ◆一般会計

借入目的	現在高
教育債	23億8,397万円
土木・公営住宅債	17億2,242万円
総務債	9億5,500万円
衛生債	5億8,449万円
民生債	3億2,536万円
消防債	3,761万円
その他	27億3,669万円
計	87億4,554万円

### ◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3億9,562万円
下水道事業	231億4,784万円
計	235億4,346万円

### ◆企業会計

水道事業	14億9,312万円
------	------------

### ◆基礎数値◆

人口 149,179人

世帯数 62,999世帯

面積 50.39km<sup>2</sup>

### ◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	3億1,788万円	3億1,708万円	8,317万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億4,426万円	1億101万円	883万円
下水道事業	61億6,674万円	31億5,596万円	16億5,903万円
国民健康保険	136億4,522万円	65億9,776万円	55億5,462万円
後期高齢者医療	14億9,306万円	5億1,334万円	3億1,358万円
介護保険	71億4,773万円	32億7,013万円	27億9,811万円
計	289億1,489万円	139億5,528万円	104億1,734万円

### ◆水道事業会計

区分	予算現額	執行額
収益的収入	28億7,028万円	12億9,312万円
収益的支出	28億3,067万円	9億1,763万円
資本的収入	5億407万円	3,608万円
資本的支出	14億1,166万円	9億7,054万円

## 健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の平成26年度決算に基づく数値をお知らせします（表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています）。

### ◆健全化判断比率

（単位：％）

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.58
連結実質赤字比率	-	16.58
実質公債費比率	△0.3	25.0
将来負担比率	-	350.0

実質赤字比率 一般会計等が黒字か赤字かを示す指標  
 連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標  
 実質公債費比率 一般会計等が負担する公債費の比率を示す指標  
 将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債の比率を示す指標  
 早期健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

### ◆資金不足比率

（単位：％）

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
下水道事業特別会計	-	
水道事業会計	-	

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標  
 経営健全化基準 財政健全化への取組みが必要となる基準値

総評…市は、全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

○各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。